



令和2年度

学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

令和3年1月28日
横浜市立高田小学校

2月号

次の出発に向けて

副校長 田島 良子

「今日の富士山は、すごくきれいでしたよ。」
最初に通って行く登校班が教えてくれました。登校班が合流する坂のてっぺんから見える富士山の見事なこと。そういえば、50年前の高田小の子ども達の文集にも、きいんと冷たい澄んだ空気の中で、くっきりと見える富士山のことが書かれていました。きっと、この景色と会話は、高田小学校にずっと継がれていくものでしょう。

「くつをならべたら、おかあさんがOKと言ってくれました。」
と、お家でのお手伝いを報告している児童がいました。今でも家族のみんなの分をならべているそうです。「靴をそろえる」という行動は、たんなる礼儀だけではなく、いろんなことにつながっていくことと思います。

靴を脱ぐ場所は、社会と家庭の、あるいは自分と他者、いずれにせよ、一つの境界域であることは間違いありません。そこで、「自分の足元を見直すこと」「気持ちを切り替えること」は、きっと、何か、大切な「間」や「整え」を知ることになったのではないのでしょうか。ふとした子どもの所作に声をかけたことがきっかけとなって、長い人生を送るのに重要な習慣を手に入れたのだと思います。

2回目の緊急事態宣言が発出されて、学校生活は4・5月の休校が明けた頃の厳戒態勢になりました。そんな中でも、子ども達が今ある現状の中で、着実に成長していている姿に、ご家庭と高田の町のもっている地域力に、改めて感謝の気持ちでいっぱいになります。ありがとうございます。

さて本来ならば、2月は1年間のまとめとともに反省を生かして、来年度の準備に取りかかる時期です。ところがコロナ禍の中、ここぞというところで、みんなが集まって確認し合う機会がなくなってしまいました。少人数で話し合いを重ね、代表で練り上げ、少しでも見える形の改善を進めています。業務のスリム化をしながら、同時に「大切なこと」「本当に必要なこと」を考えて、できるだけ有効性のあるものにしようとしてきました。これから出されるプリント等に関心を寄せてご覧いただければ幸いです。